

鎌ヶ谷市

市民活動推進センター だより



ほたる子ども会

(詳細は4頁に掲載)



目次

ほたる子ども会 (写真紹介)	p 1
NPO法人 生活の丘 梨の木工房 (団体紹介)	p 2
NPO法人と自治体との協働実績 (データでみるNPO活動)	p 3
地域デビュー指南術 (図書紹介)	p 3
助成金情報 (お知らせ)	p 4
NPO法人と雇用保険 (Q&A)	p 4

NPO法人 生活の丘 梨の木工房

《代 表 者》 井田 芳子

《所 在 地》 〒273-0121 鎌ヶ谷市初富
802番地69号

《連 絡 先》 TEL 047-444-9227
FAX 047-444-9227



【活動の目的は？】

この法人は、障がい者に対して、障がい者福祉に関する事業を行い、福祉の増進に寄与することを目的としています。

具体的には、知的障がいのある方に、作業や地域との関わり合いを通して、社会性を身につけていただき、一般企業への就労の足掛かりを築くことです。

【活動テーマ】

障がいや生きづらさを抱える方々に対し支援を行っていくことです。

多くの方がより良い人間関係を育めるよう応援し、あたたかい環境が人を元気にするという文化を広めていくことです。

【活動内容】

- ① 組紐、ツル細工などを中心にした障がい者小規模福祉作業所の運営
- ② 社会人として独り立ちできるような教育を含め、障害者自立支援法に基づく地域生活支援
- ③ 家族・本人を含む各方面からの相談業務

【活動に至った経緯は？】

「人生をゆっくりと模索できる場所、人間関係を安心してのんびりと育める環境をつくりたい」という想いの実現に向けて、梨の木工房を設立しました。



【実績・成果】

週6日、一日6時間、平均8名の仲間が、継続的に作業所に集まり、楽しく・和やかに作業が継続できる環境が整い、且つ、厳しいながらも事業運営の目処が立ちつつある状況にあります。

【アピールポイントは？】

多くの方々に当団体の活動を理解していただき、参加していただけるように、自分たちの活動を公開し、様々な人々とコミュニケーションを図っています。

【問題点、課題は？】

3年を一つの目処として、社会人としてのマナーを身につけていただき、早く一般社会へ巣立って欲しいと考えていますが、不景気、若者の就職難等も重なり、現実は大変厳しい状況にあります。また、仕事繰りも受注が減少傾向にあり、先行きが懸念されます。

【工夫している点】

特別支援学校及び友和園を卒業した知的障がいのある方とその保護者、そして指導員が一体となり、ボランティアと共に力を合せて地域における障がい者福祉の向上を図っています。

【今後の方向性、展開】

作業所はまだ不足しています。自立も計画通りにはいかになく、受入れ態勢の強化または新しい作業所の設置が必要です。そのためには様々な技量を持ったボランティアが必要です。例えば、行政への届出・申請が得意な方、完成した商品をチェックしてくれる方、会計のお手伝いをしてくれる方等々です。ご協力をお願いします。

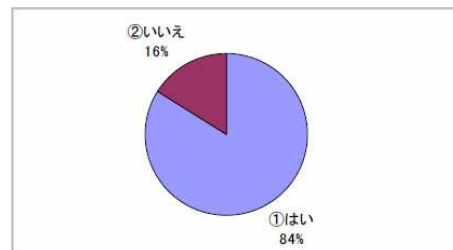
データでみる NPO 活動

平成22年2月1日現在

この調査は、千葉県内市町村における市民(NPO)との協働に関する状況を把握し、平成22年度に実施する市町村とNPOとの連携促進事業の推進に役立てるため、千葉県が、県内56市町村の市民協働・市民活動担当課に対して調査票を送付し、実施したものです。

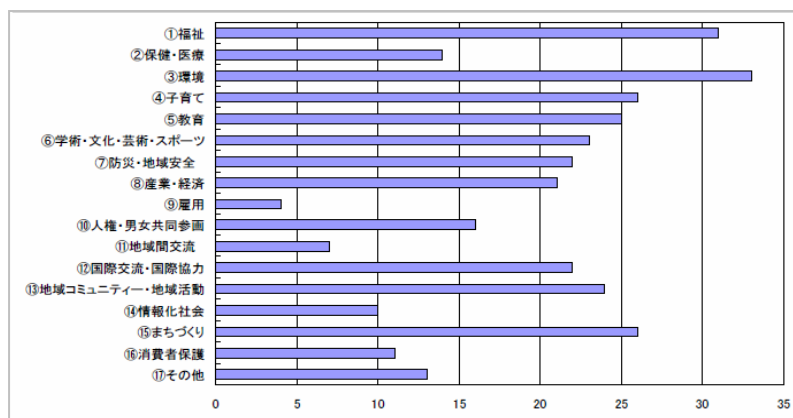
＜総合計画等に市民(NPO)との協働が位置づけられていますか＞

総合計画等に市民(NPO)との協働が位置づけられていますかの問いに「はい」と回答した市町村が47団体(83.9%)に対し、「いいえ」と回答した市町村が9団体(16.1%)でした。



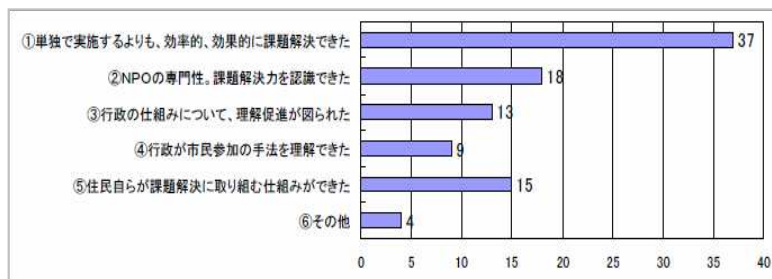
＜今までにどのような分野で市民(NPO)と協働したことがありますか＞

市民(NPO)と協働したことがある分野で回答が多かったのが、「環境」(33団体)、「福祉」(31団体)、「子育て」(26団体)、「まちづくり」(26団体)に対し、少なかったのが、「雇用」(4団体)、「地域間交流」(7団体)、「情報化社会」(10団体)でした。



＜市民(NPO)と協働したことがある場合、どのような成果がありましたか＞

市民(NPO)と協働したことによる成果で、回答が多かったのは「単独で実施するよりも、効率的、効果的に課題解決できた」(37団体)、「NPOの専門性、課題解決力を認識できた」(18団体)、「住民自らが課題解決に取り組む仕組みができた」(15団体)でした。



出所：千葉県NPO情報ネット

図書の紹介

地域デビュー 指南術

再び輝く団塊シニア

著者 シニアライフ
アドバイザー
松本すみ子

発行所 東京法令出版

過去に団塊世代の定年退職が近くなり、2007年問題などと社会的にクローズアップされたことがあった。団塊世代が全員60歳を超えた今、マーケットの関心は衰えているように見える。しかし、行政・自治体は今後も団塊世代への取り組みから逃げることはできない。地域では行政・自治体の手の回らない分野が増えて四苦八苦している。であれば、力と知恵を持て余している人たちの活躍の場は地域にあるのではないかと。団塊世代の場合はまだ若く、会社での実務経験も忘れてはいない。そういう人たちと共に地域の問題について考え、活動し、解決していく場を作ってはどうか。

本書は、団塊世代を地域に導きたい行政と、地域で自分を導きたい市民の両方にとって必要な要素が満載。団塊の世代の地域デビューへの一歩を力強く押してくれる1冊である。



お知らせ

助成金情報

公益信託 ちばぎんハートフル福祉基金

<助成の趣旨>

千葉県内で行う社会福祉に係わる事業に対し、その事業資金を助成するもの。

<助成対象者>

千葉県内に主たる活動拠点がある法人又は団体（法人格は問わない）に助成する。

<助成対象事業>

障害者・高齢者・児童の各福祉事業に対する事業資金の一部又は全部を助成する。

<助成金額>

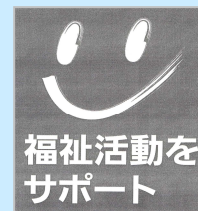
総額800万円の予定。助成金は1件当たり20万円～100万円（80万円標準）とし、10件程度を決定する予定です。

<募集期間> 毎年、4月1日から5月31日の予定。

平成23年度も実施の予定。詳しくは受託者

住友信託銀行（03-3286-8218）にご確認下さい。

公益信託
ちばぎんハートフル福祉基金



NPO法人と雇用保険

Q. NPO法人は雇用保険に加入しなければならないか？

A. 1週間の労働時間が20時間を超える職員がいる場合には、法律上強制加入となります。但し、事前に労災保険に加入していることが原則になっています。雇用保険は、原則として役員（理事、監事）は加入対象になりませんが、有給職員としての業務を兼務している理事（使用人兼務役員）は、雇用契約を法人と結び、ハローワークの認可を受けることによって、加入できます。理事長は雇用主となるため加入することはできません。また、65歳以上の方も加入できません（労災保険には加入できます。）詳しくは、最寄りのハローワーク、社会保険労務士に相談してください。

〔「NPO なんでもどこでも相談 100 問 100 答」より〕

．．☆．．写真の説明．．☆．．

私達「ほたる子ども会」は3年前より子どもゆめ基金の助成活動として「忍者になって遊ぼうよ」という活動を行っています。この活動は、遊びのプロ集団「アフタフ・バーバン」の経験豊富なスタッフの方をご講師としてお招きし、「子どもと大人がいかに関わっていけるか」という大きなテーマを目的としています。なんだか分からないけどおもしろい！って思える瞬間を味わうことのできる遊び・・・そんなことの積み重ねが大事なんだと気づかされる「忍者になって遊ぼうよ」。3年目の今年は初めての夜の修行「闇忍者」を行いました。11月5日（金）の夕方、鎌ヶ谷中学校に集まった高学年の子ども達。始まる前から子ども達の興奮はMaxで、修行が始まってその状態は変わらず、「暗闇も何のその！」のパワーに圧倒されました。闇の中に隠された宝を一つ残らず探し出せた時の子ども達の達成感は暗闇の中でもはっきりとわかりました。2日目の低学年の昼の修行。新鎌ヶ谷駅近くの公園につながる道にはふろしきをかぶった「ちび忍者達」があふれていました。町の人達の好奇の目もなんのその！ちび忍者達は修行に夢中でした。今回の「忍者になって遊ぼうよ」でも子ども達との沢山の「おもしろい」に出会うことが出来ました。鎌ヶ谷市の子ども達がこの「おもしろい」にいっぱいいっぱい出会えるまでこれからもこの活動を続けていこうと思います。

- * 会員数 50名
- * 活動状況 年7～8回
- * 月会費 0円
- * 年会費 100円
- * 連絡先 ほたる子ども会 代表 武波 憲子
- * TEL 047-767-9911

編集後記

このセンターだよりも私が発行する3回目のもとなりました。時の経過と共に、多くの方々と接することができました。いろいろな課題も見えてきたような気が致します。まなびいプラザにお出でになる方、各公民館で活動されている方、NPO法人で活動される方、地域でいろいろなグループで活躍されている方、いずれも街を明るく、人々が幸せになることを願って活動されている方々だと思います。趣味の会も市民活動の会も大きな違いはありません。特別養護老人ホームで活動しているお手紙グループや太鼓や音楽楽器のグループは立派な市民公益活動グループです。勇気を持って仲間を増やしましょう。

市民公益活動相談員 須貝

発行者・所在地 鎌ヶ谷市市民活動推進センター 鎌ヶ谷市富岡 2-6-1 生涯学習推進センター（まなびいプラザ）1階
TEL/FAX 047-401-0891 / 047-401-0892
URL/e-mail <http://www.collabo-kamagaya.jp/> / sikatu@city.kamagaya.chiba.jp